



第33回日本整形外科超音波学会

2022年7月23日(土)～24日(日)
広島コンベンションホール

スイーツセミナー

ある手外科医のエコーの使い方 ～手外科疾患を中心に～

座長

JR札幌病院整形外科 科長
金谷 耕平 先生

演者

東京女子医科大学整形外科 講師
岩倉 菜穂子 先生

ハイブリッド開催 (現地+オンデマンド配信)

| | |
|----------|---|
| 現地 | 2022年7月23日(土) 15:05～16:05 第1会場 広島コンベンションホール2Fメインホール2B |
| オンデマンド | 配信期間: 8月初旬から1ヶ月程度の配信を予定しています |
| 単位取得について | 日本整形外科学会教育研修単位のいずれか1単位を取得できます。 必須分野: 【1】整形外科基礎科学または【10】手関節・手疾患 (外傷を含む) |



ある手外科医のエコーの使い方

～手外科疾患を中心に～

東京女子医科大学整形外科 講師

岩倉 菜穂子 先生

手外科疾患は非常に多彩であり、骨・関節・靭帯・腱・神経と多岐にわたる。これは、エコー検査を活用できる疾患が多いということでもある。

また、手は露出部のため衣服の着脱が不要であり、対象組織が比較的浅いところに存在しているため、手軽にプローブを当ててみるができる。

誰しも診療する機会がある橈骨遠位端骨折やばね指について、特徴的なエコー所見や整復時のエコー使用法、手術時のエコー活用法などを紹介する。

さらに遭遇する頻度は高くないがエコー検査が非常に有用な CM 関節脱臼骨折や母指の stener lesion、腱の皮下断裂でのエコー活用法について説明する。神経に関しては針刺しや外傷での末梢神経損傷の所見や hydro-release、前骨間神経・後骨間神経のくびれなどエコー検査以外では見つけられない所見を提示する。

この他、手外科医として勤務する中でどのような場面でエコー検査を活用しているかを紹介する。